

明日へのバトンを  
今、あなたに。



KTC GROUP BRAND Roots Book

おつかれさまです

O T S U K A R E S A M A D E S U

## この本を開いたあなたへ

私たちは知っています。

「社員、スタッフ、家族、お客さま、取引会社さま、  
そして、この本を開いているあなた」

KTC GROUPにかかわる全ての人のおかげで  
50周年の今があることを。

その感謝とねぎらいと応援の気持ちを届ける  
「おつかれさまです」の言葉。

もしもあなたが道に迷ったとき、目的を見失いかけたとき、  
この本を開いて思い出してください。

私たちは、なぜKTC GROUPなのか、  
そのルーツと引き継がれてきたバトンが記された  
ブランドルーツブックです。

なぜ、私たちは今、存在するのか

私たちの出発点は、いつも身近な「人」や「こと」。  
KTC GROUPのこれまでのストーリーをこちらからご覧ください。



なぜ、K T C G R O U P なのか

私たちKTC GROUPは、  
家庭教育に向き合うことから始まりました。  
お客さま一人ひとりの声に耳をかたむけ、  
そこにある希望や悩みを共有し、  
一緒になって走ってきた50年。  
教育から共育へ、私たちは暮らしの課題に、  
社会の課題にグループとして向き合うことで  
仕事の領域を広げてまいりました。  
すべての仕事がつながることで、  
私たちは存在します。



## History

### 私たちの歩み

教育・出版から  
暮らしのサポート事業まで  
50年の歩みの中で  
私たちは常に「人」を真ん中に、  
さまざまな事業を展開し、  
社会の課題に向き合ってきました。

1970s	1980s	1990s	2000s	2010s	2020s
家庭教育課を掲げて創業	教育出版社として自社商品開発	「つくる・とどける・おしえる」教育総合出版社として全国へ	お客様ニーズの多様化に合わせて教育総合企業へ	Public Solution Supportを理念に多角化へ	Social Business企業として多柱化へ



## 私たちにとって、仕事とは何だろう

あすバトブログのテーマは、「つなぐ」と「つながり」。  
サービスや世代、立場を超えた取り組みの様子を発信しています。  
ブログはこちらからご覧ください。



私たちの仕事は、ご家庭に寄り添う教育から、学校での教育、  
そして暮らしの悩みに寄り添い「あったらいいな」を  
実現する繰り返しの中からつながり合ってきました。  
人と人が顔を合わせて笑い合える仕事を。  
「ありがとう」が実感でき、紡ぎ合える、  
私たちにしかできない幸福な仕事です。

迷ったときに思い出して欲しい。

あなたは1人じゃない。



12

明日へのバトンを、今。



13



明日へのバトンを、今。 **50th**  
**KTC GROUP**  
Share Your Passion for Tomorrow

1972年、家庭教育課を旗印に産声を上げた私たちは、  
様々なご家庭との接点を原点に人と人がふれあう、多くの仕事を生み出してきた。

今、持続可能な社会への希望のもと  
私たちの教育は共育へ。そして、協育へ。

協育では、全てのグループ企業や事業が、  
私たちの学校が、そして一人ひとりが未来に希望を描き、  
明日へのバトンを渡し合うことでつながる。

身近な暮らしを支える様々な仕事が、明日への勇気に。子どもたちへのバトンに。  
支える子どもたちの想いが社会課題の解決へつながる、ビジネスのアイデアに。

協育のもと、子どもも大人も分け隔てなくつながりバトンを渡される。  
新たな学びや機会が、ソーシャルビジネスが、次々と生み出されることを目指していきたい。

明日へのバトンを、今。  
未来を希望に変える一歩を、今日のあなたはどこに踏み出すのだろう。

KTC GROUP 50周年

## Visual Identity

私たちの存在を、  
私たちらしさを物語るエレメント

50周年を節目に、「明日へのバトンを、今。」という

私たちの存在意義を合言葉にし、シンボル・ロゴタイプを刷新しました。

「明日へのバトン」とは、過去から現在まで、

一人ひとりがつないできた、未来への希望のこと。

コーポレートカラーの若草色から萌葱色(パワーグリーン)への熟成、

地球におさまらない「K」のモチーフ、明日を照らすライトから、

KTCグループの今後の可能性を、シンボルマークで表現しています。

### Purpose Slogan

明日へのバトンを、今。  
Share Your Passion for Tomorrow

### Logotype

50th\_フォント : Helvetica Bold

**50th**  
**KTC GROUP**

GROUP\_近似フォント : Helvetica Neue Thin Italic

### Symbol Mark

明日へのバトン = 未来の希望を照らすシンボルへ



K : 協育 + ルーツ

世界 / 社会

未来の希望を照らす

### Basic Type

**50th**  
**KTC GROUP**

#### Power Green

DIC : N832 萌葱色(もえぎいろ)  
CMYK : C51 / M16 / Y98 / K9  
RGB : R141 / G165 / B62  
Color Codes : #8DA53E

#### KTC GRAY

DIC : 546  
CMYK : C0 / M0 / Y0 / K80  
RGB : R103 / G104 / B105  
Color Codes : #59575E



愛する身近な人たちのために、暮らしに



身近な誰かのために、私たちは走り続ける。



## Business

### 私たちの歩み。紡いできたバトン

1972年、家庭教育と向き合うことから始まった私たちは、  
人と人とのつながりながら幸せを育み合う、  
さまざまな事業を生み出してきました。

出版・メディア事業



教育サービス事業



人材育成・学校事業



語学・海外事業



暮らしのサポート事業



住環境デザイン事業



## 出版・メディア事業



人と人が、たすけあえる。  
つながりを、もっと。

KTCグループは、高度成長期後の  
「未来を担う子どもを育む」という社会的ニーズを受けて、  
1972年に「家庭教育課」として創業しました。  
あらゆる世代に向けて教育図書の制作・販売を行うとともに、  
より多くの人に想いを届けるために、  
一般図書の出版も行っています。  
書籍からWebメディアへ、時代とともに媒体は  
変化していますが、「子ども」「暮らし」「地域」をテーマに、  
小さな発見を発信し続ける姿勢は、創業以来変わりません。  
私たちは出版・メディア事業を通じて、  
人と人とのつながりを創出しています。

# History

1972

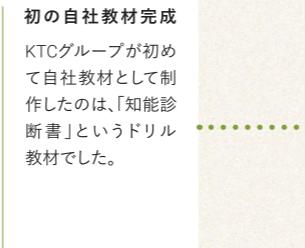
## 創業

KTCグループはこの年、学研の教材販売代理店「教育図書センター(KTC)」として創業しました。事業テーマは「教育」。強みは「人」=営業力。「日本の中央(中部地方)に教育の総合出版社を創ろう」という壮大な夢を抱いての創業でした。



1977

教育図書の制作・製造を開始  
1972年の創業以来、KTCグループは教材の販売代理店として拡大を続けていましたが、この年ついに教育図書の自社制作・製造を開始。以降、数々のオリジナル教材が誕生することとなりました。



1979

初の自社教材完成  
KTCグループが初めて自社教材として制作したのは、「知能診断書」というドリル教材でした。  
「中央出版」設立。編集室設置。  
自社教材「漢字・計算ドリル・学習」「チックタック・ドリル」完成  
編集室が設置され、出版事業に本格着手。「知能診断書」に続く自社教材の開発も続々と進められました。



1981

初の大型家庭用教材  
「トータル幼育セット」完成  
創業2年目から継続してきた幼児教育の集大成として、初の大型家庭用教材「トータル幼育セット」が誕生しました。



1993

高校生向け家庭用教材  
大学入試合格システム  
「ゴールウイン」完成



2003

「アノニマ・スタジオ」  
青山にオープン



1988

高校入試合格システム  
「ジャストミート」完成・「日本子ども資料年鑑」刊行開始



1983

小学生向け家庭用教材  
「家庭の教科書チェック&アタック」完成  
KTCグループのロングヒット商品となる、小学生向け家庭用教材が誕生しました。これにより、幼児・小・中学生向けの主力商品が出揃うことになりました。



「全国小・中学生作品コンクール」開催  
チェック&アタックの監修をいたいた著名な先生方にご協力をいただき、KTCグループの外郭団体「子どもの文化・教育研究所」が設立されました。この年、同団体主催の「第1回 全国小・中学生作品コンクール」を開催。現在にいたるまで毎年多くの作品をご応募いただいており、KTCグループにおけるPSS(Public Solution Support)活動の「原点」といえる活動となっています。

2009

屋久島の食品や、  
飲料水の販売開始  
屋久島・奄美大島の漁業その他、  
水産物の生産・加工輸出入と販売を開始



2016

「屋久島経済新聞」創刊  
屋久島放送局「屋久島ハートTV」開局





教育サービス事業



育みたいのは、  
一人ひとりの希望。

教育図書の出版にとどまらず、それらを教材として  
活用した教育サービスも展開しています。  
お客様のご要望を受け、  
創業期に開校した幼稚教室をはじめ、  
FAX・インターネット指導サービス、個別指導教室など、  
受験戦争～個性教育などの時代の要請に合わせて  
様々なサービスを手がけてきました。  
その対象は子どもの枠を超えて、シニア層にも広がっています。  
これからも学び続ける人のすぐそばで、  
未来を描くお手伝いをしていきます。

# History

**1972 創業**

**1973**

初の法人  
「幼児英才教育センター(有)」設立。  
「幼児英才教室」を開室



**1980**

幼児教室「よいこの  
チックタック教室」開室



**1990**

初のFAX指導をスタート

個別指導塾の需要が高まる中、家庭学習においても子どもたちの学力に合わせた個別指導が求められるようになりました。KTCグループはそういう声にお応えし、出版・メディア事業で展開していた教材のFAX学習指導サービスをスタートさせました。各ご家庭の生活スタイルに合わせたサービス展開はご好評をいただき、以降FAX指導は大きく広がっていきました。



**1998**

「地球っ子スクール」スタート

幼児・小・中学生向けに、「計算」「文章題」「图形」「ことば・文法」「文字・漢字」の5領域を並行して学習できる教室を開室しました。



**2014**

「学参」が  
KTCグループの傘下に  
進学指導塾に統合して、  
家庭教師の「学参」が  
KTCグループの傘下に入りました。



**2013**

「明倫ゼミナール」が  
KTCグループの傘下に 

幼児教室

「ヨコミネ式学習教室」が開室  
愛知県内で展開している進学指導塾「明倫ゼミナール」がKTCグループの傘下に入りました。進学指導塾を傘下に加えることで、より各家庭のニーズに合わせた教育のかたちを提供できるようになりました。



**2005**

「ナビ個別指導学院」開校  
この年、個別指導塾「ナビ個別指導学院」が誕生しました。小学生から高校生まで、一人一人に合わせた個別指導を行っており、現在は全国に700を超える教室を展開しています。



**2003**

「市民パソコン塾」スタート  
KTCグループはこれまで、子どもたちへの教育を柱として事業を開発してきましたが、お客様のニーズの多様化に合わせて、生涯教育にも目を向けるようになりました。その第一歩としてスタートしたのが、「市民パソコン塾」です。



**2015**

ロボット・プログラミング教室  
「Kicks」が開室



**Kicks**

**2020**

「昂塾」が  
KTCグループの傘下に  
滋賀県で展開している  
進学指導塾「昂塾」が  
KTCグループの傘下に入りました。

**昂塾**

**2021**

「英進」が  
KTCグループの傘下に  
2020年の「昂塾」に続き、群馬県で展開している進学指導塾「英進」がKTCグループの傘下に入りました。

**英進**

**2022**

オンライン指導「Fit NET STUDY」がスタート  
2020年以降、パンデミックなどの影響もあり、オンライン指導に対する需要は一層の高まりをみせました。KTCグループは創業以来、時代の要請に合わせて様々なサービスを展開してきました。「Fit NET STUDY」もそのひとつです。創業当時から取り組んできた教育・サービス事業は、次の50年に向けて、変わらず「子どもたちの個性を伸ばすことで、未来を描くお手伝いをしたい」をテーマに展開しています。



「アルファプラスアカデミー」が  
KTCグループの傘下に  
札幌市中央区を中心に展開している進学指導塾「アルファプラスアカデミー」がKTCグループの傘下に入りました。





どんな大人になれたら  
幸せだろう。

2000年代、既成の学校のしくみを超えて  
学びたいという子どもたちが増えました。  
創業以来、一人ひとりの個性と向き合ってきた  
KTCグループのできることは何か。  
私たちが辿り着いた答えが、  
なりたい大人になるための通信制高校。  
在学中のさまざまな体験を通じて、  
「未来を描くお手伝い」をしています。さらには海外から  
日本に学びに来たい青年のための日本語学校も開学。  
未来を担う子どもたちの自己実現を  
幅広くサポートしています。

# History

1972 創業

**2002**

**通信制高校サポート校  
「KTC中央高等学院」開校**

KTCグループは創業当時から「子どもたちの個性を伸ばすこと」を主軸に事業を展開してきました。多様化する学びのニーズに合わせて、通信制高校の在籍者をサポートし、高校卒業資格取得を支援する事業がスタートしました。

**2005**

**広域通信制  
「屋久島おおぞら高等学校」創立**

KTCグループ初の学校が誕生しました。生命力あふれる世界自然遺産「屋久島」の大自然の中での体験教育や、地域の方々との交流を通して、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を伸ばしています。



屋久島おおぞら高等学校

**2015**

**日本語学校「福岡国際学院」が  
KTCグループの傘下に**


**FIA**  
Fukuoka International Academy
**2012**

**「屋久島センバスビレッジ」グランドオープン**

2000年代以降、屋久島おおぞら高等学校的開校や、出版・メディア事業で携わっている第一次産業の再生など、屋久島と深いつながりを持つようになったKTCグループは、より多くの方にその豊かな自然を五感で感じてもらおうと、「屋久島センバスビレッジ」をオープンしました。スクーリングで訪れた学生たちに、「リレー水田」や「たんかん栽培」などを体験しながら、大自然と触れ合える環境を提供しています。

**2007**

**「マンガロープリンク」設立。  
外国人材支援事業の開始**

これまで、「子どもたち」の教育に注力してきたKTCグループですが、社会のグローバル化と、それに伴う語学・海外事業の流れを汲んで、外国人材の支援事業にも乗り出しました。

**JTIS**  
Japan Tokyo International School
**2009**

**日本語学校「日本東京国際学院」が  
KTCグループの傘下に**

この年、新たに日本語学校をグループの傘下に加え、創業当時から柱としてきた教育と、2000年代以降活発化してきた海外事業のノウハウを活かし、外国人留学生に日本語を教えるサービスを開始しました。現在は東京・名古屋・福岡の3か所で展開しています。

**2010**

**「KTC中央高等学院  
パンクーパーキャンパス」開校**

カナダ・パンクーパーにもサポートキャンパスを開校しました。語学事業と連携し、おおぞら高等学院からの留学生を受け入れて語学の授業を行ったり、ホームステイの体験をサポートしたり、世界へはばたく子どもたちの育成をしています。

**2018**

**「KTC中央高等学院」が  
「KTCおおぞら高等学院」へ改称**  
この年、「KTC中央高等学院」は新たな理念として「なりたい大人になるための学校®」を掲げ、「KTCおおぞら高等学院」に改称しました。



**日本語学校  
「名古屋国際学院」開校**


**NIA**  
Nagoya International Academy
**2021**

**「屋久島おおぞら高等学校」  
校長に脳科学者の茂木健一郎氏が就任**

2013年、屋久島で初めて特別授業をしていただいたことをきっかけに、屋久島おおぞら高等学校とかかわりを持ち続けてくださっていた茂木健一郎氏が、この年、校長に就任しました。現在も「茂木校長の #なりたい大人 白熱授業」と題して、定期的に特別授業を行っています。

**2022**

**「KTCおおぞら高等学院」と  
「屋久島おおぞら高等学校」は  
「おおぞら高校」へ**

**「屋久島おおぞら高等学校」  
在籍生徒数が1万名を超える**





見つかる、広がる、  
じぶんの世界。

国際化が進み、語学指導のニーズが高まる  
日本において、いち早く子ども英会話教室を開校。  
語学学習だけでなく、異文化交流・体験の  
機会を創出してきました。さらには、バンクーバーでの  
語学学校運営や留学サポートサービス、  
海外イベント、オンライン英会話サービス、  
パイロットスクールなどの多岐にわたるサービスを展開。  
子どもたちの活躍の場を広げ、  
子どもたちの世界を広げるお手伝いをしています。

# History

1972 創業

1989

「マザーゲースビデオ単語帳」販売開始

語学事業で最初に誕生したのが、イギリスやアメリカで古くから親しまれてきたわらべ唄「マザーゲース」にちなんだ幼児向け英語教材でした。ビデオでグースキーとその仲間たちの冒險物語を見ながら、英語はもちろん、英語圏の文化にも触れられるつくりになっており、多くの子どもたちに愛される商品となりました。



2006

フィリピンで、航空事業「AAAパイロットスクール」開校  
インフラが十分に整備されていないアジア諸国の中でも、フィリピンやインドネシアなどの島国は小型飛行機がなければ物資の輸送に大きな影響が出ます。そこで、パイロット不足を解消し、アジアの経済発展に貢献するため、パイロットスクールを開校しました。KTCグループの「社会課題の解決のお手伝いをする(Public Solution Support/PSS)」という想いが、国境を越えて広がった瞬間です。



1993

子ども英会話教室

「ベビーキッズクラブ」第1号教室オープン

「えいごではなそベビーキッズビデオ」販売開始

1980年代以降、社会や経済のグローバル化が進み、語学力が求められるようになりました。ビデオサンプルの営業にはじまり、KTCグループではいち早く子どもも英会話教室を開校。語学事業もKTCグループを支える柱のひとつとなりました。

PEPPY KIDS CLUB



2000

カナダ・バンクーバーに語学学校「KTC Language Institute」(現「iTTTi バンクーバー」)設立

カナダのバンクーバーで、英語を第2言語として学ぼうとする方向けに語学学校を設立。日本からの留学生も受け入れはじめました。KTCグループはこれをきっかけに、留学事業の第一歩を踏み出しました。



2002

児童英語コミュニケーション技能検定「TECS」スタート

語彙力だけでなく、英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を判定する児童英検(児童対象の検定試験)がスタートしました。

TECS

2005

留学エージェント

「ウイッシュインターナショナル」スタート

2000年代、語学の習得は学習の「目的」ではなく、活躍の場を広げるための「手段」になりました。KTCグループはこれまで培ってきたノウハウを活かし、海外留学の経験がない方にも安心して留学していただけるサービスの提供を開始。「子どもたちの活躍の場を広げるお手伝い」をスタートさせました。

wish

WISH International, Inc.



2011

「屋久島ホリスティックツアー」開催  
自然と人、人と人、心とからだ、個と集団。あらゆるもののがつながっていることに気づき、それを大切にすることを学ぶ「ホリスティック教育」をテーマに、iTTTi会員の方々に屋久島の自然を感じていただく「屋久島ホリスティックツアー」を開催しました。



2012

台湾・台北に語学学校「iTTTi 台北」設立  
台湾で暮らす日本人や、台湾人向けに語学学校を設立しました。インドネシアには「iTTTi インドネシア」も設立され、現地の幼稚園児から大人までを対象に語学学校を展開。インドネシアから日本への短期留学を実施するなど、世界をつなぐサポートを行っています。



2018

「Mother Goose World まなびば」第1号教室開室  
幼児～児童を対象に、子ども英会話・カルチャースクールを開室しました。幼児向けの英会話に加え、P.C.、そろばん、アート、書道の5つのコースを設け、子どもたちの「もっとやりたい」を引き出すお手伝いをしています。



Mother Goose World  
まなびば  
ma na bi ba

iTTTi  
VANCOUVER

## 暮らしのサポート事業



暮らしの「困った」を、  
「よかったです」へ。

教育サービスを通じて長年ご家庭に向き合い、  
寄り添ってきたKTCグループ。  
子どもの預け先、親の介護、お金や保険の悩み…。  
各ご家庭で耳にするお困りごとやお悩みにもお応えするために、  
さまざまな暮らしのサポートサービスが生まれました。  
このサービス展開を通じて  
「社会課題の解決のお手伝いをする  
(Public Solution Support/PSS)」  
という考え方方が生まれ、  
KTCグループの理念となっています。

# History

**1972 創業**

**1997**

KTC保育園

「レツ・びー大曾根」開園

90年代後半、幼稚園・保育園の待機児童が都市部を中心に増加しはじめました。創業直後から幼児教育に携わってきたKTCグループは、この年グループ初の保育園を開園。現在も続く保育サービスの礎となっています。



**2000**

電話回線サービスの販売を開始

2000年代に入ると、携帯電話が爆発的に普及し始め、より良い通信環境へのニーズが高まりました。KTCグループはそのニーズをいち早く察知し、電話回線サービスの販売に着手。本格的に教育以外の「暮らし」につながる事業がスタートしました。

**2002**

ウォーターサーバー

「アクアセレクト」の販売をスタート

食品偽装問題や災害をきっかけに、日本でも「安全な水」への関心が高まり、ウォーターサーバーが急速に普及し始めました。KTCグループは「おいしくて安全な天然水をご家庭に届けたい」という想いから、国土交通省の「全国一級河川水質調査」で何度も1位に輝いている宮川(三重県)の天然水を使用したウォーターサーバーの取り扱いをスタートしました。

**2007**

保険の代理店販売をスタート

電話回線サービスの販売開始を機に、本格的に教育以外の「暮らし」のサポートを開始したKTCグループは、ご家庭の「今」だけではなく「未来」を担うサービスをスタートさせました。それが保険の代理店販売サービスであり、現在の「家計の見直し堂」の原点です。



**2013**

民間学童保育「KTC放課後スクール Hug PON! (ハグポン)」スタート

公設の学童保育が減少する一方で、共働き世帯やひとり親世帯は増加しており、保育園に限らず、子どもを預かるための施設の需要が高まっています。そういったご家庭の声にお応えし、民間学童保育をスタートさせました。



**2015**

リハビリ専門デイサービス  
「はなのき」スタート



**2017**

放課後等デイサービス  
「はぐぽん」スタート



**2012**

認可保育所  
「 Ain 能見台駅前保育園」開園

1997年の保育園開園から15年の時を経て、ついに認可保育園を開園。暮らしのサポートとして幅広い事業を手掛けながらも、常に軸は「教育」がありました。KTCグループの原点ともいえる「幼児教育」の集大成として、現在は愛知県と神奈川県に13か所を展開しています。



**2018**

「家計の見直し堂」全国9か所にオープン

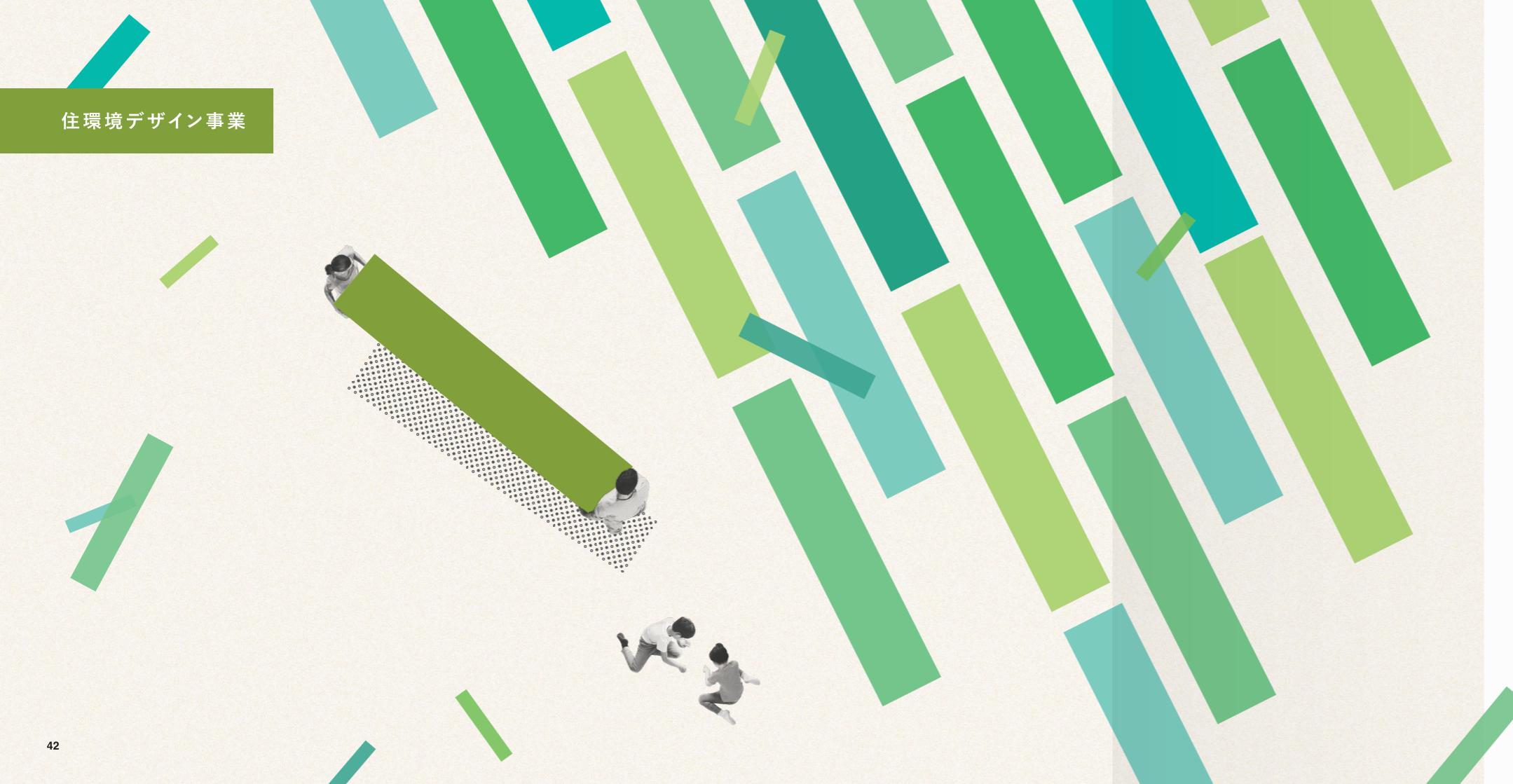


**2002**

2007年からスタートした保険代理店事業は、以降拡大を続け、保険・通信・光熱費・住宅を総合してコンサルティングする「家計の見直し堂」となりました。現在は全国28店舗を展開しており、人々の暮らしに密着したサービスを提供しています。「PSS(Public Solution Support)」は今や理念だけではなく、KTCグループの一大事業となっています。



**家計の見直し堂**



## 住環境デザイン事業

守っているのは、  
住まいじゃなくて  
子どもの明日。

お客様の暮らしのなかにある課題解決のお手伝いをするために。  
KTCグループでは、「未来への備え」「安心安全な暮らし」を望むお客様の声にお応えして、  
住まいにまつわるサービスを提供しています。  
外装リフォームサービスやクリーンエネルギーサービスを通じて、  
大切な住まいを未来へつなぐ  
住環境デザインを推進しています。

住環境デザイン事業  
**History**

1972 創業

2001

アルミサイディングの取り扱いサービスがスタート

KTCグループは、「社会課題の解決のお手伝いをする(Public Solution Support/PSS)」という理念のもと、教育にとどまらず、暮らしの課題解決のお手伝いをしてきました。ご家庭とのつながりの中で「未来への備え」や「安心安全な暮らし」を求める声を多くいただき、住まいに関するサービスに着手。現在のKTCファシリティーズの前身となる事業が誕生しました。



2009

オール電化サービスが本格スタート

2000年代から普及始めたオール電化は、ガス代の節約だけではなく、ガスや火を使わないことから、ガス漏れや火事などのリスクが少ない安全なサービスとして注目されるようになりました。KTCグループは、「住まい」を守るサービスの一環として、オール電化サービスに着手。2001年にスタートした建築分野とはまた別の視点で「住まい」と向き合う事業をスタートさせました。

2011

クリーンエネルギーの取り扱いがスタート

世界的に「クリーンエネルギー」が注目される中「太陽光発電」への関心も高まりました。KTCグループはそんなニーズにもいち早く応え、オール電化サービスに統いて、太陽光パネルの取り扱いを開始。以降、住環境デザイン事業は、KTCグループの大きな柱となる事業へと拡大していきました。



2013

KTCグループの社員職人による  
外壁工事がスタート

アルミサイディングの取り扱いからスタートした住まいのサービスは、外壁・屋根工事の施工管理業務を経て、KTCグループの社員職人による外壁工事へと展開しました。「職人の質を高めることは、商品の価値を高めること」という理念のもと、社員職人をはじめとした、職人育成プログラムの充実を図っています。



2017

外装リフォームサービスがスタート

お客様の「住まい」を守り、「安心安全な暮らし」を提供するためのサービスを展開してきたKTCグループは、この年外装リフォームサービスにも着手。お客様と一緒に一生をともにする「住まい」をより長く愛していただけるよう、良質な商品・工事・アフターサービスを開拓しています。



2014

蓄電池の取り扱いがスタート

太陽光パネルの取り扱いに続き、蓄電池の取り扱いがスタートしました。世界的に環境への配慮に対する意識が高まる中、太陽光発電と併用すれば省エネルギーにつながることはもちろん、災害時にも電力を確保できるなど、「安心安全な暮らし」に直結するサービスを提供できるようになりました。



2018

V2Hの取り扱いがスタート

「クルマから家へ(Vehicle to Home)」を意味する「V2H」は、電気自動車のバッテリーに貯めた電気を家庭用として利用できるシステムです。災害時の備えとしても注目されており、KTCグループではこの年初めて、V2Hの取り扱いがスタートしました。



2019

KTCファシリティーズ設立

KTCファシリティーズは、工事だけでなく、建築設計や商品企画管理、アフターサービスまでをワンストップで提供し、お客様の「住まい」を守ることを理念として設立されました。「住まい」の現場における「職人不足」の解消を目指して、独自の『職格制度(従弟制度)』を採用し、社員職人の育成にも注力しています。KTCグループは創業当時から「人を育てる」と大切にしてきました。現在もその意思は、事業部を問わず受け継がれています。



2020

KTCファシリティーズ×リハビリ専門ディイサービスはなのき  
「機能訓練指導員が伺う住宅改修サービス」がスタート

KTCファシリティーズとリハビリ専門ディイサービス「はなのき」が、業界初の「機能訓練指導員が伺う住宅改修サービス」をスタートさせました。機能訓練指導員=リハビリの専門家がお客様の身体状況をチェックし、転倒が起きるリスクを発見、建築士・職人と一緒に適切な対策をご提案するサービスです。「慣れ親しんだ家や地域で、いつまでも自分の力で生活したい」というお客様の想いに寄り添いながら「自立したシニア」のサポートを行っています。



さあ、次の事業は、  
あなたから生まれるかもしれません

明日へのバトンを今、あなたに。

## Public Solution Support memo

Public Solution Support(PSS)とは、「社会課題の解決のお手伝いをする」という、KTC GROUP独自の事業創造マインドです。身近な「人」や「こと」に目を向けて、そこにある課題や悩みを起点に事業創造を図ることで、社会に寄り添うKTC GROUPでありたいと考えています。

解決したい社会課題（なぜ、だれの、どんな）

解決後の理想の状態（だれが、どんな、気持ち）

解決策（だれが、何を、どうやって）

だれと（法人や事業など）

未来を希望に変える一歩を、  
今日のあなたは  
どこに踏み出すのだろう。



KTC GROUP

BRAND ROOTS BOOK Ver.1.0

2023年4月1日 第1刷

編集・発行：中央出版ホールディングス株式会社

企画・コピー原案・CIディレクション：上田聰司（プラスディーアンドシー合同会社）

アートディレクション：下元浩人（株式会社エイティワン）

デザイン：御船義人（株式会社エイティワン）

印刷：図書印刷株式会社

© KTC GROUP





私たちの想いを物語る、最も身近なエレメント「社章」。社章の裏側には、ロットナンバーが刻まれています。このロットナンバー、実はKTC GROUP全ての仲間とつながる通し番号に。あなたの社章は、世界でたった1つしか存在しない「あなた」です。

[www.ktcgroup.jp](http://www.ktcgroup.jp)